

日交研シリーズA-580

平成 24 年度自主研究プロジェクト

ロジスティクスからみた物資流動と交通流動の相互関係に関する研究

刊行：2013 年 10 月

ロジスティクスからみた物資流動と交通流動の相互関係に関する研究
A Study on the Relationship between Goods Movement and Traffic Flows,
at the View Point of Logistics

主 査 苦瀬博仁（東京海洋大学教授）
Hirohito KUSE

要 旨

ロジスティクスを物資流動と交通流動に分けてみると、物流は流通経路によって規定されると考えられる。そのため、交通ネットワークや物流施設を計画するときには、物資流動や交通流動について、流通経路の実態を踏まえながら計画することが重要である。

そこで本研究では、流通経路の相互関係の概念を整理した上で、都市物流および国際物流を対象に、物資流動と交通流動（貨物車交通や船舶交通）の相互関係の実態を明らかにすることを目的とする。

具体的には、下記の手順にそって研究を進めた。

1 章『はじめに』では、本研究の背景と目的、および本研究で用いる用語について述べた。

2 章『ロジスティクスにおける流通経路と物流の考え方』では、本研究における流通経路の考え方を示すとともに、流通経路別に分析手法と分析結果を示した。

3 章『都市圏における物資流動と交通流動の相互関係』では、平成 15 年度に実施された東京都市圏物資流動調査のデータをもとに、物資流動と交通流動の相互関係を示した。

4 章『海外生産地と国内消費地間における物資流動と交通流動の相互関係』では、海外生産地と国内消費地間における物資流動と交通流動の相互関係を明らかにする 1 つの視点として、コンテナ流動と船舶流動を比較するとともに、日本の対米輸出におけるコンテナ流動を明らかにした。

キーワード：ロジスティクス、物資流動、交通流動

Keywords : Logistics, Goods Movement, Traffic Flows